

日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書

平成 26 年 5 月 27 日

所属部局・職	理学研究科、生物科学専攻、霊長類・野生動物系、修士 1 年
氏名	戸田和弥

1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域)
コンゴ民主共和国、キンシャサ、バサンクス、ロマコ
2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験)
類人猿保全のワークショップ
3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで)
平成 26 年 4 月 4 日 ~ 平成 26 年 4 月 20 日 (日間)
4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏)
NGO 団体、AWF, Jef Dupain
5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由)
写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。
僕は、NGO 団体の保全活動に将来的に従事したいと考えており、コンゴ共和国で AWF が主催するワークショップに、古市先生に同行し、参加させていただいた。 今回の渡航では、アフリカの類人猿保全を目的とした、NGO 団体の会議への参加、ならびにサイバートラッカーを用いたフィールドでの、野生動物の生息状況を把握するための実習を行った。 会議の中で、NGO 団体の活動内容(密猟への対策、生息状況の確認等)、問題点等を知ることができた。また、多様な国、多様な機関の生物保全の専門家から、お話を聞くことができ、国、団体ごとの方針や、現状に合わせた対策、問題点等も教えていただいた。 野生動物を保全するという共通の目的を持つ NGO 団体も、決して一枚岩ではなく、組織としての問題を多く抱えていることが分かった。全体として前に進むために、各組織がどのように関わるかが、これから先大切になっていくようだ。 フィールドでの実習では、実際にサイバートラッカーという GPS とコンピューターが連動した機械を用いた。森でデータを取った後に、パソコンと連動して、エクセルやグーグルマップと連動させることができた。 この渡航で何より、語学の大切さを痛感させられた。ワークショップの参加者はフランス語を共通言語としてコミュニケーションをとっていた、コミュニケーションが取れないと、どうしても弱くなってしまう。 この経験は、これから先のフィールドでの調査に役立ち、そして、生物保全というものの見方に良い刺激を与えてくれたと信じる。 以下に、詳細な日程を記述する。

日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書

4/4~4/6 中部空港からキンシャサまで空路にて移動

4/7 AWF のジェフと面会する。

4/8~4/9 AWF が主催する会議に出席する。



4/10 コンゴのボノボサンクチュアリを訪問する。

4/11 キンシャサからバサンクスに空路に移動。

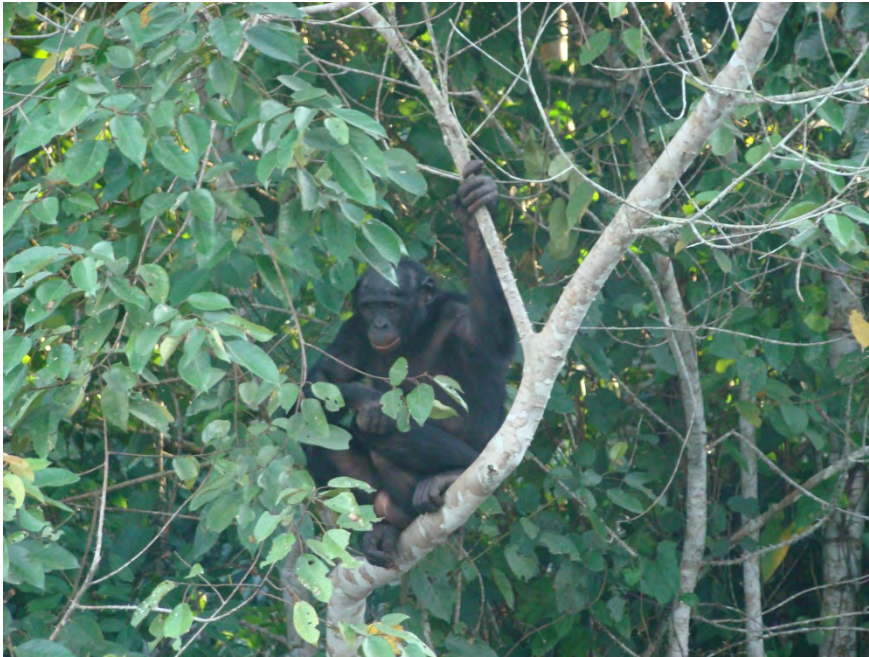


4/12 ボノボの楽園にて、野生に放たれたボノボを観察した。

日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書



日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書



4/13 コンゴ川をカヌー

にてロマコへ移動



日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書



日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書



日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書



4/14 ロマコにて森の中に入り、サイバーとラッカーを使用する。

初めて、熱帯雨林を歩き、森の中で眠った。

多くの困難と、美しい景色に出会った。スワンプの森は歩きにくい、コツがありそうだ。

4/15 基地に帰り、サイバートラッカーとコンピューターの連動の仕方を教わった。

4/16 昨日、戻れなかったワークショップの仲間が戻るまで待機、現地の人と交流を持つ。

4/17 バサクスヘカヌーで帰る。途中で日が暮れてカヌー上から見る星がすごく綺麗だった。

日本学術振興会博士課程教育リーディングプログラム
「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」
による派遣研究者研究報告書



た。

- 4/18 キンシャサへ空路で移動
- 4/19 キンシャサから日本へ帰る
- 4/20 帰国

6. その他 (特記事項など)